

令和5年度「大学教員の企業現場研修」開催報告

1. 開催趣旨

大学教員の教育力向上を支援するため、賛助会員の全面的な協力を得て、「大学教員の企業現場研修」を開催し、情報産業における事業戦略の動向、若手社員を交えた大学での学びに対する要望などの意見交換を通じて、授業改善に向けた気づきを提供している。

2. 開催方法

本年度はオンラインによるテレビ会議形式(Zoom 使用)でなく、対面方式で実施した。

3. 開催日時・参加状況

2024年2月21日(水)	株式会社内田洋行	参加者: 15 大学 15 名
2024年2月27日(火)	株式会社日立製作所	参加者: 17 大学 17 名
2024年3月6日(水)	NEC ネットズエスアイ株式会社	参加者: 25 大学 25 名
2024年3月7日(木)	富士通 Japan 株式会社	参加者: 21 大学 25 名
		合計 78 大学 82 名 (前年: 67 大学 80 名)

4. プログラムの概要

実施企業	実施内容
株式会社内田洋行 2月21日(水) 13:00~16:45	<ol style="list-style-type: none">未来の教室 Future Class Room Labo の紹介とユビキス共創広場 CANVAS ツア 最新のショーラーとハイフレックス授業にも対応する「未来の学習空間」の見学及び最新のライブオフィス見学。内田洋行の人事戦略の紹介 会社紹介と社員教育プログラムを通じて、「情報の価値化と知の協創をデザインする企業」を目指して取り組んでいる人材育成の考え方や仕組み、採用などの紹介と意見交換。教育データ利活用に向けた取り組みの紹介 GIGA スクール構想や最適な指導や支援を行う教育データ利活用に向けた取り組みの先進事例を紹介。若手社員との意見交換 若手社員から業務内容、必要なスキル、ICT 企業の課題や実態、大学への要望などの発表と意見交換。
株式会社日立製作所 2月27日(火) 13:00~15:00	<ol style="list-style-type: none">事業概要、人材育成の取組の紹介 日立が展開する社会イノベーション事業を中心に事業概要と、事業の推進に向けた日立の人財に対する考えを説明。イノベーションの核となる ICT 活用事例の紹介 教育研究や業務のデジタル化推進が求められる中、日立コンサルティングから、大学におけるデジタル人財の育成やデジタル化推進に向けた風土醸成・組織変革について説明。若手社員との意見交換 (大学での学びについて) 営業部門と SE 部門の入社1~3年目の若手社員から、担当業務内容・必要なスキル・業務上の課題や実態・大学時代に役立った経験や大学への要望などの発表と意見交換。
NEC ネットズエスアイ株式会社 3月6日(水) 13:30~17:15	<ol style="list-style-type: none">事業概要、事業戦略の紹介 DX 活用による働き方改革の取組について、自社での実践の事例を交えた紹介とオフィス見学で現場・環境を体感。イノベーションの核となる DX 活用事例の紹介 DX 活用による授業運営効率化やデータ共有基盤活用等の ICT 活用事例、及び大学 IR 推進に向けた取組を紹介。人材育成の取り組み (説明と意見交換) 人材育成の体系と、今後の DX 推進に必要な人材育成の考え方や取組について紹介し、意見交換。若手社員との意見交換 (大学での学びについて) 若手社員3名から、現在の業務内容や経験を踏まえ、大学時代に受講して役立った授業や、学んでおきたかったこと、大学に対する要望などを発表し、大学教育に求める人材育成について意見交換。
富士通 Japan 株式会社 3月7日(木) 13:00~15:00	<ol style="list-style-type: none">事業戦略の紹介 富士通 Japan の DX(デジタル・トランスフォーメーション)を強力に推進し、日本の持続的な成長を支える取組み及び富士通 Japan が考える大学 DX や最新の事例等を紹介。ジョブ型新卒採用へのチャレンジ 富士通グループのジョブを起点とした採用に転換し、職種・ビジネス単位ごとに適した人材採用の紹介。学生が自身のキャリア志向や強みを認識し挑戦できるよう、インターンシップの拡大や社員との対話の場を提供している取組の一部を紹介。若手社員との意見交換 (大学での学びについて) 若手社員から現在の仕事の内容や経験を踏まえ、大学時代に役立った授業や学ぶべきこと、大学に対して望みたいことなどについて発表し、意見交換。

5. 参加者の声

令和5年度「大学教員の企業現場研修」4社の参加者アンケート集計結果

(参加者：82名 回答者：75名)

1. この研修を他の教員にも紹介したいと思いますか		① 他の教員にも紹介したいと思う	② どちらともいえない	③ なかった
	回答数	59	14	2
	回答割合	78.7%	18.7%	2.7%
※ 参加者の8割弱が他の教員にも紹介したいと回答している。				
2. 今回の研修で大学の授業現場で役に立ちそうなことはありましたか		① あった	② どちらともいえない	③ 思わない
	回答数	68	5	2
	回答割合	90.7%	6.7%	2.7%
※ 参加者の9割が大学の授業現場で役に立つと回答している。				
3. 大学教育に求められる取組みについての意見	① 生成系AIやDXをはじめ企業活動が大きく変化している中で、大学の動きが遅くこのような動きに迅速に対応しておく必要があると強く感じた。			
	② 生成系AIはビジネス社会だけでなく大学教育も大きく変えると思うので、このような機会を継続的に持つて意見交換して行くことが必要だと思う。			
	③ 若手社員の発表で、ICTに関する技術に加えて、主体性や問題解決力についても大学教育で期待されていることを聞き、授業改善の必要性を強く感じた。			
	④ 大学DXの取組み、ジョブ型採用などへの対応、生成系AIへの対応などこれからの教育改善に向けたFDを実施する必要性を強く感じた。			
	⑤ 学生を企業に送り出す側として、企業の現場の実態を理解し、学内にフィードバックして教育改善を図ることが大事だと感じた。			
	⑥ 企業の目指す方向や人材育成の仕組み、ジョブ型等の採用動向は生きた題材として活用できると思う。最新の情報を活用して授業を改善していきたい。			
	⑦ 大学の学びと社会に出てから必要なスキルを大学教育のどこに位置付けるか、企業等の実態をもっと知り、理解して教育改善していく必要があると思う。			
	⑧ 他大学の卒業生の意見は殆ど聞く機会が無いので、若手社員から大学教育への要望を直接聞いたのが良かった。			
4. 大学教員の企業現場研修全般についての意見	① このような機会は他に無く、非常に多い内容と思う。引き続きこのような研修を拡大して企画していただくと有難い。			
	② 非常に良い機会を与えていただき感謝しています。このような機会をもっと増やしてほしい。			
	③ このような産学連携事業はとても重要で有意義だと思う。さらに企業を拡大し、継続して実施してほしい。			
	④ グローバル人材育成の取組み、ダイバーシティ、女性管理職などのテーマについても取り上げて欲しい。			